

第24号

令和3年8月15日発行

ないえ 議会だより

発行 北海道奈井江町議会 / 編集 広報常任委員会



主な記事

臨時議会報告・役場庁舎に関する調査特別委員会		P2
第2回定例会報告		P3
町政 ここを問う（一般質問）		P4～P7
常任委員会報告		P8～P9
移住者インタビュー		P9
各種委員会報告		P10



おもいやり明日へ

Kindness for Tomorrow



<http://www.town.naie.hokkaido.jp/gikai/>

奈井江町議会

検索

建設関係者から混構造に不安の声 !!

開催日 4月13日、
5月12日

調査内容

○庁舎建設「町民説明会」の結果

○基本設計書（案）に対するパブリックコメント（意見公募）の結果

説明員 町三役、関係職員

参考人として北海道建設設計より3名出席

主な質疑

問 木造部分の三角屋根は雪対策など維持管理が難しい。

答 基本設計では勾配屋根としていますが、浸水や除雪など費用増加のご意見をいただきましたので実施設計では陸屋根として積雪の影響を受けない高さに排煙窓を設ける設計としたい。

問 2階の一部木造は耐久性に不安。

答 木造とRCでは法定耐用年数に差はありますが、建物の寿命は50年程度で構造の違いは寿命にあまり影響していません。水の侵入によるリスクは同じで、止水部分を適切にメンテナンスすれば寿命に与えるリスクは同等です。メンテナンスについては中長期保全計画を作成します。

意見要望

建設費が増えても実績のある鉄筋コンクリート構造にすべきとの意見もありますが、一部木造であっても必要な強度、耐久性は設計とメンテナンスで解決できることが確認できましたので、基本設計で示された内容で実施設計を進めていたきたい。

実施設計を進めるにあたっては町民の皆様の意見にしっかりと答えるような設計としていたきたい。

4月27日開催

第2回臨時会

【議案審議結果】

■令和2年度一般会計補正予算（第16号）の専決処分の承認

ふるさと納税寄附金を繰入、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金や各種交付金を精査し3月31日付けで 1億1,527万円を追加し、総額56億8,801万円

■令和3年度一般会計補正予算（第2号）

新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金関係経費で7,982万円を追加し、総額48億6,348万円

■令和3年度下水道会計補正予算（第1号）

污水管新設（北町1区）で220万円を追加し、総額4億570万円

■令和3年度町立国民健康保険病院事業会計補正予算（第1号）

地方創生臨時交付金で感染予防対策経費を700万円追加

■奈井江町税条例及び都市計画税条例の一部を改正する条例

地方税法の一部改正に伴う一部改正

■固定資産評価審査委員会委員の選任につき同意を求めることについて

馬場和浩氏の辞任（令和3年3月31日付）により、新任に田野義美氏の選任に同意

令和3年度 新型コロナウイルス感染症対策地方創生臨時交付金実施計画概要（追加分）

住民に対する支援

●プレミアム付商品券発行事業 1,440万円

事業所等に対する支援関係

●商工業感染対策環境整備・消費拡大事業 1,200万円

公共施設・防災備蓄等関係

●公共的空間安全・安心確保事業 355万円

●文書管理システム導入事業 1,534万円

●町立国保病院感染防止対策事業 700万円

●公共施設公衆無線LAN整備事業 763万円

●健康コミュニティ推進事業 1,200万円

●学校感染対策事業 761万円

合計 7,953万円

第2回定例会で審議された議案

第2回定例会は6月18日から22日まで開催されました。提案された条例や補正予算、人事案などすべてを可決しました。

その結果、令和3年度一般会計予算の歳入歳出総額は48億7,674万円となり、その他2件の意見書を可決し閉会しました。(議会傍聴者4名)

【議案審議結果】

報告	令和2年度一般会計予算繰越明許費繰越計算書について	報告済
	奈井江町第6期まちづくり計画「後期実施計画」の変更について 新規事業の追加、実施項目の変更、事業年度の変更等	報告済
補正予算	令和3年度一般会計補正予算(第3号)の専決処分の承認を求めることについて 新型コロナウイルスワクチン接種に集団接種を加えるため5月20日付けで1,006万円を追加	全会一致
	令和3年度一般会計補正予算(第4号) 国から低所得者の子育て世帯生活支援特別給付金を加え、令和2年度繰越金の確定等で歳入歳出に320万円を追加	全会一致
	令和3年度国民健康保険事業会計補正予算(第1号) 令和3年度後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号) 令和3年度下水道事業会計補正予算(第2号) 令和2年度繰越金の確定により繰入金の減額等	全会一致
	奈井江町税条例の一部を改正する条例 新型コロナウイルス感染症の影響による国民健康保険税の減免の特例の対象年度等が延長されたことに伴う一部改正	全会一致
条例等	奈井江町認定こども園の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例 子ども子育て支援法施行令の一部改正に伴う保育料の一部改正	全会一致
	奈井江町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例 奈井江町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例 デジタル社会の形成を図るための関係法律の整備に関する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例 国の法改正に伴う一部改正	全会一致
	工事請負契約について(奈井江町体育館大規模改修工事) 契約額 130,350,000円 契約者 砂子・高橋・古屋経常建設共同企業体	全会一致
	町有財産の取得について(ロータリ除雪車(1.3m/700t)) 契約額 20,900,000円 契約者 (株)N I C H I J O	全会一致
人事	固定資産評価審査委員会委員の選任につき同意を求めることについて 任期満了となる井戸博勝氏(令和3年6月23日付)の再任	全会一致

【意見書審議結果】

意見書名	提案者
米の需給・価格安定対策と米政策の見直しを求める意見書	竹森 毅議員
林業・木材産業の成長産業化に向けた施策の充実・強化を求める意見書	大関光敏議員

全会一致で可決し、衆参両院議長・内閣総理大臣ほか関係大臣に提出しました。

町政 ここを問う

6月定例会では4人の議員が**一般質問**を行いました。

QRコードを読みとることで一般質問の音声聞くことができます。

農業担い手の育成について

新規参入者受け入れを 各機関と農業者等で人材育成を



町長 各機関と連携強化、先進地視察等で研修を実施



遠藤 共子

遠藤

今や全国的にも少子高齢化が加速し、農業者が減少し続けており、歯止めがかけられない状況にある。

本町としても将来の農業者は現在の半数になると予測されている。今後、担い手の確保と育成についてどのように考えるのか。

地域によつては、多くの新規参入者を受け入れ、2年間の研修を経て、新たな担い手として、町にしっかりと根付いている所もある。

様々な先進地事例を参考に職員の研修にも取り組んでいただきたい。

また新規就農者を後押しするために関係機関と農業者による協議会の設置を考えてはどうか町長の考えは

町長

現在農業が抱える課題として、農家戸数の減少や高齢化、新規就農者をはじめとした次世代の担い手の育成、確保が急務となっている。

令和元年度における空知管内の新規就農者が92人、内新規学卒者が31名、Uターン45名、新規参入者が16名で全体の2割程度となっている。

本年、1月より北海道農業担い手育成センターとの連携のもと第三者農業経営継承という形で町外から就農希望者が1組研修を行っており、現在役場、JA等の関係機関で構成するサポートチームにより相談支援を行っている。

本町においては、今後も経営規模の拡大による農地の集積が当分続くものと考えており、担い手は確保されている状況にある。

今後も関係機関と連携しながら、新規就農に向けた支援を進めていく。

協議会の設置については、地域での体制整備が必要と認識している。

就農希望者や、研修の受け入れ農家の確保等、地域の状況を踏まえた上で、協議会の目的やその果たす役割など、農業者と関係機関が地域の課題を認識し、将来を見据えた問題意識を共有することから始めなければならぬと考える。

農業担い手の育成は本町農業が持続的に発展する上で大変重要であり、引き続き国や道の支援策を始め、本町の担い手育成基金を活用しながら、新規就農者の円滑な地域の受け入れや、定着のために必要なサポートに取り組んでいく。



ワクチン接種の予約状況



石川正人

- ①現在の予約状況は
- ②予約に関する問い合わせ・相談の内容と対応
- ③重複予約とは

町長

- ①65歳以上の予約対象者2221人に、6月17日現在1683人、75・8%の申し込みを受けている。
- ②予約体制の改善をした後は順調に申し込みが出来る。問い合わせもほとんどない。
- ③予約した人がキャンセルせずに別の日の予約をする事で、受付時に確認できないので、コールセンターに改善と対策を依頼している。

再質問

今後の年齢の前倒しはまた国のシステムで重複予約のチェックは出来ないか

町長

7月から64歳以下の住民の接種券を配送する準備をしている。国のシステムがリンクされていないため、重複予約のチェックは人為的にやっている。

開業医院の個別接種

- ①開業医院の接種期間と一日の接種可能回数
- ②開業医院の接種回数
- ③当日キャンセルの対応

町長

- ①方波見医院は5月17日、岸本クリニックは18日から開始。1日5回から18回、週3日から4日実施している。期間は国が示す令和4年2月28日まで。
- ②6月17日現在、方波見医院で155回、岸本クリニックで85回実施している。
- ③高齢者施設や障がい者施設従事者で希望者に接種する。

再質問

住民への対応は？

町長

トラブルなく対応している。

町立病院の個別接種

- ①町立病院の接種期間と一日の接種回数、期間中の延べ接種可能回数
- ②現在の予約状況
- ③当日キャンセルの対応

町長

- ①5月14日から町内9医療機関の従事者107人、5月19日から入院患者46人に接種し、6月21日で医療従事者の2回接種が終わる。町民への個別接種は、第1クールは、6月23日から7月30日まで、1日18人、週3日、期間中126人に2回行う予定。
- ②第1クルールの予約は終了。
- ③医療従事者とみなす委託業者、職員や新規の入院患者に接種してきた。状況により町のキャンセル対応と同様の対応も行う。

集団接種について

- ①人員体制について

- ②期間中の接種回数
- ③現在の予約状況
- ④当日キャンセルの対応と、接種までの手順

町長

- ①医師1名、保健師または看護師9名、事務職員5名の15名体制で、予診関連、接種やワクチン充填、健康観察、受付や事務作業、全体の総括を行っている。
- ②9月末まで64日間で約3,500人に2回接種出来る準備をしている。
- ③65歳以上の予約で、接種済者も含め6月17日時点で1070人、予約枠の79・6%を受付した。
- ④対応は個別接種と同様。高齢者施設や障がい者施設従事者の希望者には、事前の名簿管理や予診票の発行をして対応を行い、現在余剰ワクチンの廃棄はない。

接種困難な住民への対応

- ①自力で接種会場へ行けない住民への対応
- ②自ら意思決定できない住民への対応

町長

- ①移動手段を含め接種に課

今後のワクチン接種

題がある場合は相談を受けその都度対応を検討する。②家族や関係者の協力を得て、本人の意向を丁寧に組み取り意思確認を行う。住民同士の協力がまちづくりの要。今後も地域の助け合いにご理解を頂きたい。

- ①接種年齢の引き下げ、学校での集団接種、職域接種への見解
- ②7月末までの高齢者接種100%は可能か？何をもって100%とするか？

町長

- ①ファイザー社のワクチン接種を12歳以上に引き下げる準備をしている。学校での集団接種は、現時点では困難。職域接種の該当者に接種券の送付を円滑に進める。土日の集団接種も行っている。利用してほしい。
- ②接種希望者の100%という認識。希望するが受けられず諦める人がいないようフォローして行く。

新型コロナウイルスワクチン接種

速やかな実施に向けた対応は



町長 奈井江医歯会と常時連絡調整しながら
接種スケジュールを組んでいく



篠田茂美

篠田

新型コロナウイルスワクチン接種の取り組みについて

①協力いただく奈井江医歯会とは、十分協議を行い接種に臨まれたのか。また、実施していく中での課題等を打ち合わせしながら進めているのか
②64歳以下の接種は、通勤や通学が多く、高齢者と違ったケースになり、受付や接種方法の考え方について

町長

①当町のワクチン接種を進める上で、医歯会との協力体制は必須であり、早期から医歯会会長及び各医療機関と相談し、ご理解をいただき実施。

また、情報を共有し、安全・安心な接種体制に向けて常時連絡調整に努めている。

②今後、基礎疾患を有する方、60歳から64歳の方、60歳未満の方というような順位で、予約できる対象者の枠を広げていく。

接種券の発送及び予約は7月上旬を目途に、混雑を避けるため年齢を区切って、段階的に実施する予定。

接種手法は、高齢者接種

同様、医療機関での個別接種と町が実施する集団接種のいずれかで接種できるように、接種体制を整備する。

篠田

集団接種に町立国保病院の先生方も協力していくというような動きは

町長

医師が、基本診療をしながら個別接種をすることは、かなりのリスクがあり、かつ土曜、日曜に接種にあたるということは、非常に厳しいものがあると同つて



町立国保病院は、医療関係者と個別接種を担っている。

そんな中で、開業医の先生2人が、土曜、日曜の集団接種にご協力いただく計画も取らせていただいた。

町立国保病院の経営改善に向けた取り組みは

町長 町民への影響を最小限に、可能なものから順次進めていく

篠田

病院のあり方検討委員会の答申に対する、その後の取り組み状況について

①これまで取り組んだ内容と今年度以降取り組み内容について
②退職する院長の後任や今後の病院運営はどうなっていくのか

町長

①眼科外来の診療回数↓週3回に変更

外来診療における院外処

方↓7月から実施

管理経費↓業務実施個所や内容の見直しを行い、委託料の節減

今後の入院病床については、患者数の推移や患者の状態などを分析し、介護医療院への病床転換を検討
②後任の院長が決定するまでの期間↓森田副院長が院長代行

北大第一内科から外来診療などの医師派遣は、小西院長退任後も現在の派遣体制を継続

人生100年時代を見据えて

長い人生は目的意識を持ち 有意義な生活を形づくるチャンス



町長 生きがいと誇りを持ち安心な暮らしと活躍できるまちづくりを進めたい



笹木利津子

笹木

- ① 奈井江町の長寿命化進捗状況、男女の平均寿命、100歳以上の人口推移
- ② 口腔ケア予防対策
- ③ 高齢者就労支援、シニアの就業、地域活動
- ④ シルバー人材センターの会員数、平均年齢、契約件数
- ⑤ 生涯教育に伴う生涯学習の意義と目的

町長

- ① 平成12年から27年の国税調査で、男性の平均寿命は77・6歳から79・9歳と2.3歳延びており、女性は84・6才から86・3歳と1.7歳延びている。100歳以上の人口は平成12年2人、17年6人、22年7人、27年14人と増加している。
- ② 当町では健康づくり計画の5本柱の一つとして「栄養・食生活・歯の健康づくり」を掲げており、赤ちゃんから高齢期までの口腔の健康づくりに取り組んでいる。高齢期においては、介護予防事業の一環として口腔ケアの重要性を普及啓発

し、ひまわりクラブにおいて歯科衛生士の講話、指導を行い対策に努めている。

③ 社会参加活動、生きがい活動に通じた町内活動、老人クラブ、シルバー人材センター、地域サロン、ボランティア、趣味、生涯学習活動などに積極的に参加いただき、活躍の幅を広げていただきたい。

地域における介護認定調査について

高齢化が進む中 必要なサービスが大事

町長 利用を希望される町民が介護保険を正しく理解しより良い生活につながるよう努めたい

笹木

- ① 医療や福祉において、必要なサービスがいきわたるための認定調査について
- ② 介護判定結果前のサービスの利用について

- ④ シルバー人材センターの会員数は、本年4月現在で男性20名、女性11名の合計31名。平均年齢75・7歳と高齢化が進んでいる。契約件数は令和2年度591件との報告を受けている。

教育長

- ⑤ 本町における生涯学習の意義や目的、何を実践して

町長

- ① 要介護認定を受けるために、調査員の認定調査と主治医意見書の2点を参考に介護認定審査会で判定される。正確な認定調査が行われるため、家族との情報収

いくつかについて教育委員会では、この命題に改めて取り組み始めたところである。

2月に発足させた教育ビジョン策定検討委員会では、多彩な30名の町民に参加をいただき闊達な議論の中で、奈井江町が目指すべき生涯学習も含めた教育について、最終的に総合教育会議で定めてまいりたい。



集や医療機関など関係者を通じて、多面的な調査を行い適正な要介護認定につなげているところである。

- ② 認定結果が出るまでの間、サービスが必要な方には暫定でサービスが受けられるよう、対象者や家族と相談し、各機関と連携を図りながらケアマネジメントを行っている。

まちづくり 常任委員会 所管事務 調査報告

農業委員会の
所管事務について

引き続き、

農地の利用最適化の
推進に尽力願う

調査内容

農業委員会の概要、業務状
況について

問 当町の田畑の面積は

答 田1,806ha(ヘクタール)、畑123ha、
合計1,929ha

問 農業者年金の女性加入
促進に向けての対策は

答 農業委員会だよりに掲載、又農業委員が地区の集まりの中で普及啓発している。

農業委員会窓口でもPRしている。

問 農地の中間管理事業が
進まない理由は

答 当町にはあまりなじまない。今の所、あつせんや相対により農地が移動している状況。



【委員会からの意見・要望】

引き続き、担い手への農地の集積・集約化、遊休農地の発生防止・解消等、農地等の利用最適化の推進に尽力願いたい。

農業者年金では、効果的に制度の周知を実施し、加入促進を図り、女性農業者にも加入いただけるよう努力願いたい。

学校経営について

オンライン授業 の指導の充実



調査内容

学校経営方針、児童生徒数と教職員構成、進路状況、学校評価

問 全児童にデジタル端末
が渡ったようだが習熟

度は

答 小学校では教員や学年によっても得意、不得意がある。今後指導法や活用方法について、講義や職員研修の中で交流するよう計画している。

問 Wi-Fi環境は整っているのか

答 新1年生の調査はまだだが、2年生から中学

3年生は、様々な形式があり整っている。

問 奈商では、現段階で何か目指す目標はあるか

答 検定の受験者は少ないが、様々な資格や検定に挑戦し、自信をつけさせたい。

【委員会からの意見・要望】

GIGAスクール構想により、本町の児童生徒へ一人一台端末が与えられ、授業で活用していることが報告された。

今後オンライン授業も想定されることから、子供たちの学びが保障されるよう、教職員においては、ICTの有効活用に向けた研修を積極的に受講するなど指導体制を充実させていきたい。

本年度からの新たな公設塾の取り組みにより、家庭学習期間の実施等、基礎学力の定着に期待する。

高校では、小中学校との連携や地域づくりへの参画など、今後とも教育活動や地域活動に期待する。

ふるさと応援寄附金 について

今後も 創意工夫を願う

調査内容

ふるさと納税制度の概要、状況
ふるさと納税返礼品提供事業
者、納税額増加に向けた取り組み

問 企業版ふるさと納税制度の
考え方は

答 現在は実施できる体制にな
いが、早急に様々な条件を
クリアし、色々な場面でPRして
いく。

問 使途別に公表した方がアピ
ール度が大きいのでは

答 寄附金額が確定した段階で、
ホームページや広報で報告
している。

今後もっと使途別状況がわかり

やすく説明できる方法を検討して
いく。

【委員会からの意見・要望】

返礼品の提供事業者、品目の拡
大、ポータルサイト事業者の追加
などの取り組みにより令和2年度
については1億1,526万円の
実績となったことが報告され、寄
附額が増加したことは大いに評価
する。

新型コロナウイルスの感染拡大
による巣ごもり需要により、米を
希望する寄附者が増加傾向にある
が、農協とも協議し奈井江産米の
確保に努めていただきたい。

また、企業版ふるさと納税制度
の検討や、アピール度が強い政策
的事業に絞り寄附を募るなど、創
意工夫を願う。



ようこそ奈井江町へ

定住・移住施策の成果により奈井江町へ移住する方が増えています。
今回は山田さんファミリーを紹介します。

職場が奈井江町にあり、冬場
の通勤の大変さやガソリン価格
の高騰もあり、滝川から引っ越
し3年がたちました。仕事で親
しんでいる町でもあり、購入し
た家の回りも顔馴染みの方ばか
りです。

定住促進対策助成金のご支援
をいただき、引っ越し後はすぐ
に平穏な日常を過ごすことが出
来ました。自然豊かで住み良い
奈井江町に少しでも、恩返しが
出来ればと思っています。



山田さん
ファミリー

「議会懇談会」日程変更

8月5日開催予定の「議会懇談会」は、公民館が新型コロナワクチン集団接種会場となり、延期させていただきました。ワクチン接種が落ち着いた段階で、改めてご案内申し上げます。

委員会報告

Committee Report

議会運営委員会報告

- 4月27日
・第2回臨時会について
- 6月14日
・第2定例会の議会運営について
- 6月18日
・追加議案について

広報常任委員会報告

- 議会だより23号（5月15日発行）
編集のため4回の委員会を開催

全員協議会報告

- 4月27日
・第2回臨時会について
- 6月11日
・第1回定例会の議案説明について
- 6月18日
・第1回定例会の議会運営について
- 6月22日
・一部事務組合等の議会報告について

第3回定例会（予定）

- 日程 9月7日（火）
～9月14日（火）
- 場所 役場3階議事堂
どなたでも傍聴できます。お気軽にお越しください。

問い合わせなどは議会事務局まで



65-2166



gikai@town.naie.lg.jp



表紙の1枚

6月26日認定こども園で行われた運動会の様子です。

編集後記

第2回定例会も終わりました。第24号の発行となりました。

8月に予定をしていた「議会懇談会」は延期になりましたが、町民の皆様のご意見等伺う貴重な機会です。次期で案内の時には、多くの皆さんのご参加をお願い致します。

町の高齢者ワクチン接種も順調に進み、安心して生活が戻るまでもう少しの間、お互いが三密を避けながら、感染に気を付けましょう。

「議会だより」を引き続きご愛読いただきますようお願い致します。



発行 奈井江町議会 編集 広報常任委員会

委員長 遠藤 共子
副委員長 笹木利津子
委員 大関 光敏
篠田 茂美